

# Kansai Economic Insight Monthly

2016/4/25

Vol.36 March/April

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第3週金曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet（各 APIR 研究員）です。

・ 本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

## 目次

要旨	1
景気の現況	2
関空モニター	8
中国景気モニター	9
主要月次統計	13
Release Calendar	14

## 要旨

- ✓ 2月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりの前月比大幅マイナス。輸出の落ち込みに比して生産は大きなマイナス幅となった。
- ✓ 輸出は6カ月連続の前年比マイナス。輸入は7カ月連続の同マイナス。輸出の減速を上回るペースで輸入が落ち込む傾向が続いており、結果3月の貿易収支は2カ月連続の黒字。
- ✓ 調査時期の差もあり、3月の消費者態度指数は2カ月ぶりに改善したが、景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は3カ月連続の悪化。為替や株価の不安定な動きが続いており、先行き判断DIも2カ月ぶりに悪化。
- ✓ 12月の関西2府4県の現金給与総額は3カ月ぶりの前年比上昇。結果、2015年平均はほぼ横ばい。一方、1月の「関西コア」賃金指数は2カ月ぶりに低下しており、賃金の伸び悩みは続くと思われる。
- ✓ 2月の大型小売店販売額は3カ月連続の前年比プラス。2016年は閏年であったため、販売額は前年比増加となった。一方で、百貨店の伸びは微減となった。
- ✓ 2月の新設住宅着工戸数は2カ月連続の前年比プラス。3月のマンション契約率は3カ月連続の70%台。
- ✓ 2月の関西の有効求人倍率は3カ月ぶりの上昇。新規求人倍率は低下したものの、訪日外国人客の増加への対応を背景に堅調。完全失業率は横ばいで雇用環境は依然好調である。
- ✓ 3月の公共工事請負金額は2カ月連続の前年比大幅プラス。2月の建設工事は6カ月連続の同マイナス。公共工事請負金額の伸びはプラスに転じたが、建設工事は引き続き停滞している。
- ✓ 3月関空の訪日外客数は51万7,180人と38カ月連続のプラス。一方、出国日本人数は29万8,130人、同+0.5%と3カ月連続で増加したが、小幅にとどまった。
- ✓ 中国1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.7%となり、3期連続で7%を下回った。2009年1-3月期以来の低い値となった。3月のセンチメントは久しぶりに改善したが、景気の回復に力強さは見られない。

【関西経済のトレンド】

	2015年											2016年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生産	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↗	↗	↘	↘	↗	↘		
貿易	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	
センチメント	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↘	
消費	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↗		
住宅	↘	↘	↗	↗	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↗	↗		
雇用	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↘	↗		
公共工事	↘	↗	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↗	↗	
中国	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	

【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

2016年2月の鉱工業指数(速報値：季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は98.7で前月比-5.2%、出荷は96.5で同-4.6%と大幅下落。いずれも2カ月ぶりのマイナス。一方、在庫は118.9で同+1.3%と3カ月ぶりの増加となった。実質輸出の動向と同様に生産指数は下落した。ただ、実質輸出の落ち込みに比して生産は大きなマイナス幅となったため、生産の停滞が懸念される。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(同-9.3%、2カ月ぶり)、電子部品・デバイス(同-18.6%、2カ月ぶり)、金属製品(同-20.5%、3カ月ぶり)等が減産となった。一方、化学(除. 医薬品)(同+4.3%、5カ月ぶり)、窯業・土石製品(同+2.7%、2カ月ぶり)、パルプ・紙・紙加工品(同+5.4%、2カ月ぶり)等が増産となった。

なお、1-2月平均は10-12月期に比して-0.5%と2期連続の減産であった。

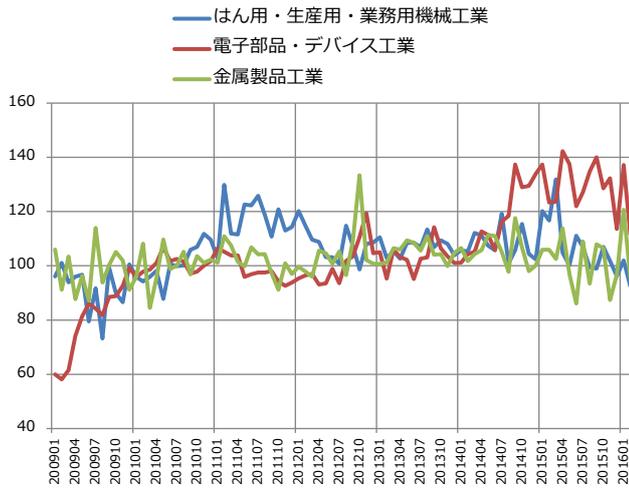
鉱工業指数の推移(関西：2016年2月まで、2010年=100)



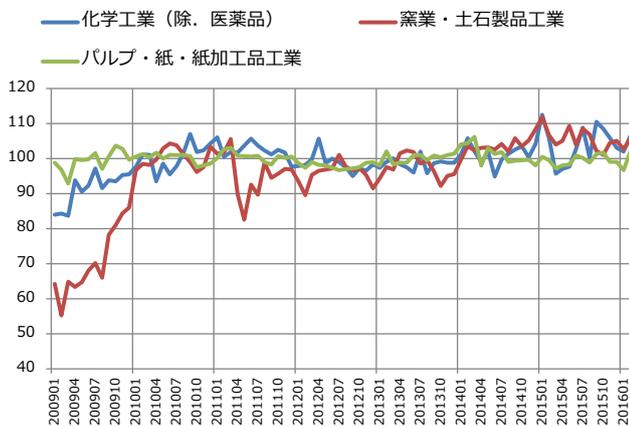
(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2016年2月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移(続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

(2) 全国の生産動向

全国における2月の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010年=100)を見ると、生産は93.2となり前月比-5.2%、出荷は92.8で同-4.1%といずれも2カ月ぶりの下落。在庫は112.1で同-0.4%と2カ月連続の下落となった。

業種別にみると、輸送機械(同-8.8%)、電子部品・デバイス(同-16.5%)、電気機械(同-7.6%)等を中心に減産となった。一方、石油・石炭製品(同+5.9%)、窯業・土石製品(同+1.5%)、食料品・たばこ(同+0.1%)等は増産となった。

足下、生産は大幅な減少となった。速報の製造工業生産予測調査によれば、3月は同+3.9%、4月は同+5.3%の増産

となっているものの、予測調査はしばしば下方修正されてきたことから、今後の生産の停滞が懸念される。

鉱工業指数の推移(全国：2016年2月まで、2010年=100)



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

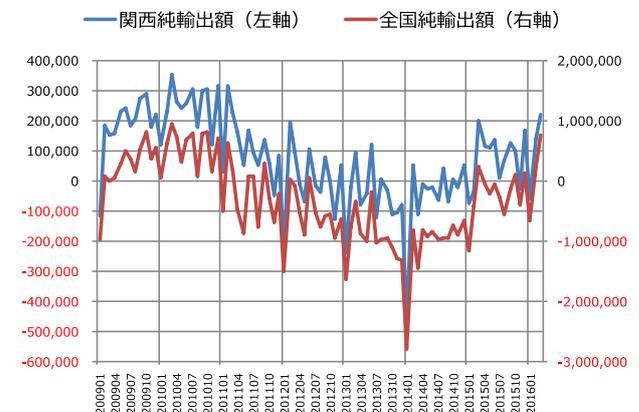
【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、3月関西の貿易収支は+2,224億円と2カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+10.8%改善した。全国の貿易収支(速報値)も+7,550億円と2カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+237.9%改善した。

輸出の減速を上回るペースで輸入が落ち込む傾向が続いており、結果として貿易収支は改善している。

関西・全国の貿易収支の推移：(百万円, 2016年3月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

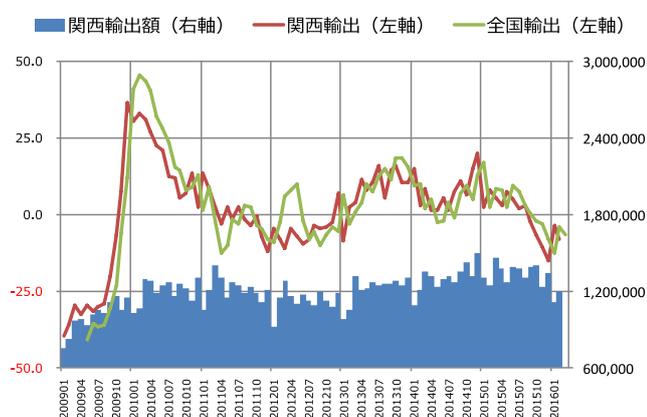
## (2) 輸出

関西3月の輸出額(速報値)は1兆3,370億円。前年同月比-8.4%減少し、6カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、科学光学機器の輸出が減少した。

全国3月の輸出額(速報値)は6兆4,566億円、前年同月比-6.8%と6カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、有機化合物、金属加工機械の輸出が減少。

なお、足下、為替レート(税関長公示レートベース)は113.15円と前年同月比+5.6%の円高となった。

関西・全国の輸出の推移(百万円, 前年同月比, 2016年3月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

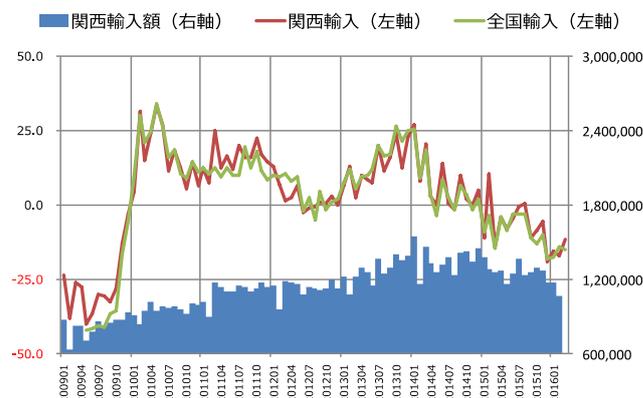
## (3) 輸入

関西3月の輸入額(速報値)は1兆1,146億円、伸びは前年同月比-11.4%と7カ月連続の減少。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油が減少した。

全国3月の輸入額(速報値)は5兆7,016億円、前年同月比-14.9%と15カ月連続の減少。財別に見れば、液化天然ガス、原油、石油製品等の輸入が減少している。

資源価格は引き続き大幅低下傾向にあり、結果、輸入額は関西、全国ともマイナスが続いている。

関西・全国の輸入の推移(百万円, 前年同月比, 2016年3月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

## (4) 関西の地域別貿易

関西3月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+2,005億円と2カ月連続の黒字も、貿易収支は前年同月から-27.4%と大幅悪化した。輸出は5カ月連続の減少(同-8.5%)。財別に見れば、鉄鋼、科学光学機器等が減少した。一方、輸入は7カ月連続の減少(同-1.0%)。財別に見ると、通信機、半導体等電子部品等が減少した。

うち、対中貿易収支は-741億円と49カ月連続の赤字であり、赤字幅の前年比は前月(同-60.3%)から大幅拡大(同+987.5%)。輸出は2カ月ぶりに減少(同-9.4%)。輸入は7カ月ぶりの増加(同+10.1%)となった。

対米貿易収支は+948億円と黒字基調が続いており、黒字幅は2カ月連続で前年から拡大(同+4.8%)。うち、輸出は5カ月連続のマイナスとなった(同-9.6%)。財別に見れば、建設用・鉱山用機械、鉄鋼等が減少した。輸入も2カ月連続の減少となった(同-20.5%)。財別に見れば、無機化合物、穀物及び同調整品等が減少。

対EU貿易収支は+235億円と3カ月ぶりの黒字となり、黒字幅は前年同月から+65.6%拡大した。輸出は6カ月連続の減少(同-4.2%)。財別に見れば、船舶、非鉄金属等が減少した。輸入は3カ月ぶりの減少(同-11.8%)。財別に見れば、半導体等製造装置、医薬品等が減少した。

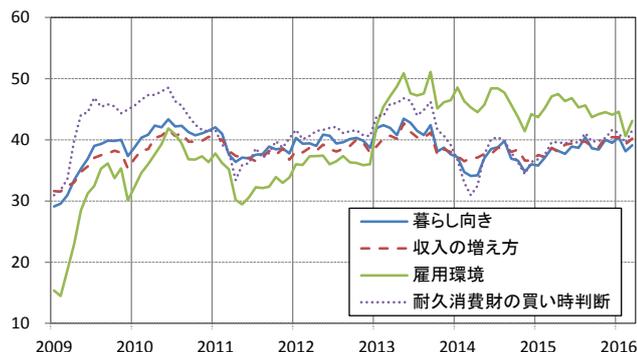
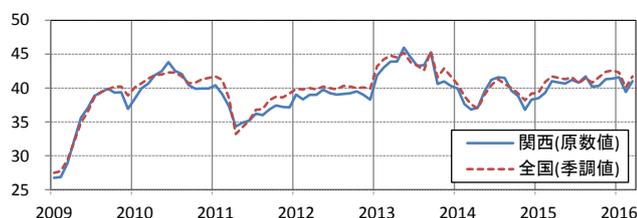
## 【消費者センチメント】

### (1) 消費者態度指数の動向

関西の3月の消費者態度指数(原数値, 調査基準日3月15日)は前月比+1.6ポイントの41.0で、2カ月ぶりに改善した。全国(季節調整値)では同+1.6ポイントの41.7と3カ月ぶりの改善。大幅低下した先月から反転した理由として、年初から続く株式市場の低迷が一段落したと判断されたことが寄与したと見られる。内閣府は消費者心理の基調判断を据え置き、「足踏みがみられる」とした。

関西で同指数の構成項目をみると、全ての項目で前月から改善した。特に「雇用環境」が前月比+2.5ポイント(2カ月ぶり)、「耐久消費財の買い時判断」が同+2.1ポイント(3カ月ぶり)、「暮らし向き」が同+1.0ポイント(2カ月ぶり)、「収入の増え方」が同+0.9ポイント(2カ月ぶり)それぞれ上昇した。消費者マインドは前月と比較してやや改善したものの、依然として停滞感が残る。

消費者態度指数(2016年3月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」

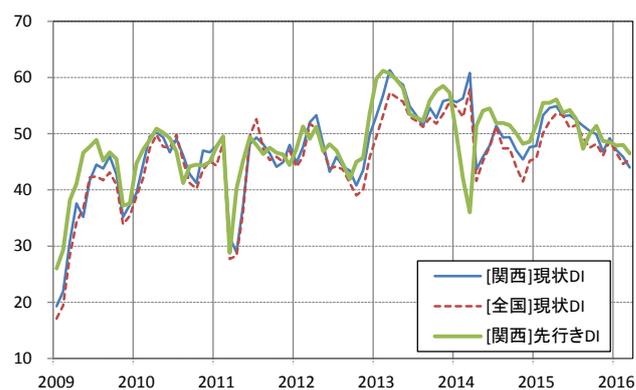
### (2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の3月の現状判断DI(調査期間:25日から月末にかけて)は前月比-1.9ポイント低下し44.0となり、3カ月連続の

悪化。景況感の良し悪しの分かれ目となる50を6カ月連続で下回った。寒暖の差が激しく、期待されていた春物商品の売れ行きが鈍かった。また、好調であったインバウンド関連消費についても頭打ちや前年割れといったコメントがみられ、トレンドが変化した可能性もある。一方全国では同+0.8ポイント小幅上昇し45.4となり、3カ月ぶりの改善となったが、判断の分かれ目となる50を8カ月連続で下回っている。

また、先行き判断DIは、関西では46.5と前月比-1.5ポイント低下し、2カ月ぶりの悪化。依然として為替や株価の不安定な動きが続いており、企業や家計の先行き不安につながったとみられる。

景気ウォッチャー調査(2016年3月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

## 【所得・個人消費・住宅】

### (1) 現金給与総額

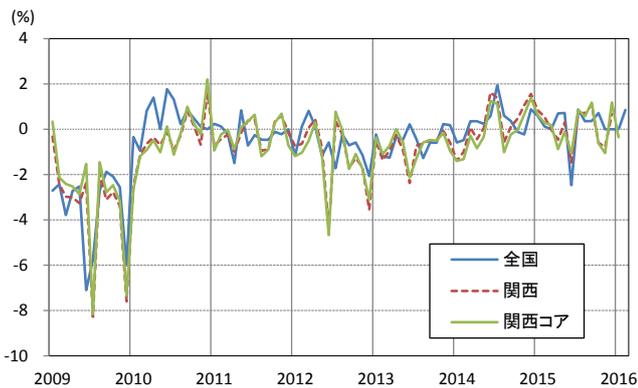
12月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は55万5,350円で前年同月比+0.7%となり、3カ月ぶりの上昇。府県別では、大阪府が同+1.9%(3カ月ぶり)、京都府が同+1.4%(4カ月ぶり)のプラス。一方、兵庫県が同-0.5%(7カ月ぶり)、滋賀県が同-1.2%(2カ月連続)、和歌山県が同-1.3%(2カ月ぶり)、奈良県が同-4.6%(2カ月ぶり)のマイナスとなった。結果、2015年の現金給与総額は前年比+0.1%とほぼ横ばいであった。

また、京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のあ

る「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は1月に前年同月比-0.3%と2カ月ぶりに低下した。京都府・大阪府・兵庫県のいずれも賃金の伸びはいずれもマイナスとなっており、賃金の伸び悩みは続くと思われる。

全国(速報値)の現金給与総額をみると、2月は前年同月比+0.9%と4カ月ぶりの上昇。内訳をみると、所定内給与は同+0.6%と2カ月ぶりのプラス、所定外給与も同+0.4%と2カ月ぶりの小幅プラス。特別給与は同+25.7%と2カ月連続のプラス。特別給与が大幅に伸びたため、現金給与総額全体の伸びを押し上げた。また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+0.4%と4カ月ぶりに上昇したものの、小幅にとどまっており、賃金の伸びは依然として弱い状況が続く。

現金給与総額(前年同月比：%、2016年2月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。  
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

## (2) 大型小売店販売額

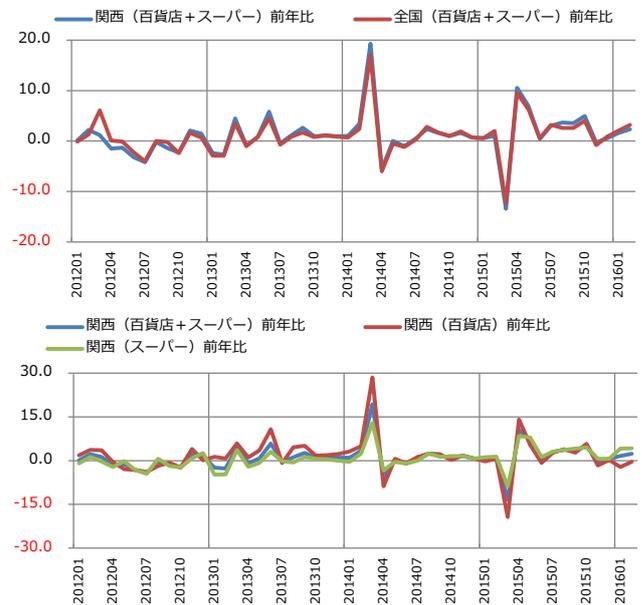
関西2月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+2.3%の増加と3カ月連続のプラス。百貨店は同-0.4%減少し、2カ月連続のマイナス。スーパーは同+4.2%と11カ月連続のプラス。

全国2月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+3.2%と3カ月連続のプラスとなっている。

足下、2016年は閏年であったため、関西の大型小売店販

売額は増加となった。一方で、百貨店の売り上げは微減であった。

大型小売店販売額(前年同月比：%、2016年2月まで)



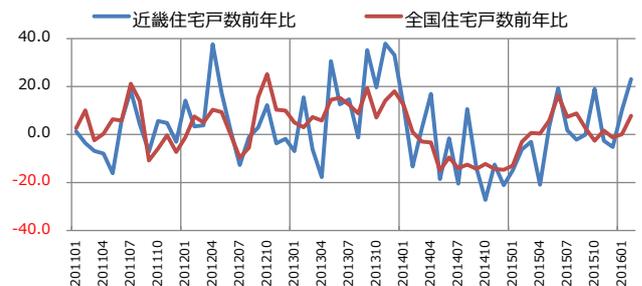
(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動向統計」

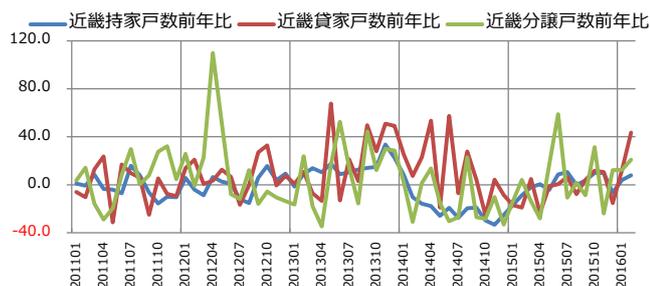
## (3) 新設住宅着工の動向

関西2月の新設住宅着工戸数は11,081戸。前年同月比+23.1%と大幅増加し、2カ月連続のプラス。全国は72,831戸と同+7.8%増加し、2カ月連続のプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は2,674戸。同+8.0%と2カ月連続のプラス。貸家は4,367戸、同+43.6%と2カ月連続の大幅プラス。分譲は3,918戸、同+21.0%大幅増加し、3カ月連続のプラス。

新設住宅着工(前年同月比：%、2016年2月まで)





(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

3月の関西マンション契約率は76.6%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安となる70%を3カ月連続で上回った。首都圏は64.3%(季節調整値、APIR推計)と、前月(72.9%)から大きく減少した。

## 【雇用動向】

### (1) 求人倍率の動向

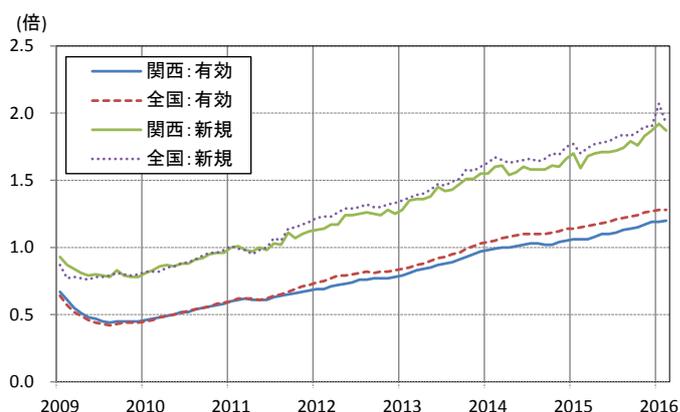
2月の関西の有効求人倍率は、1.20倍で前月比+0.01ポイントと2カ月ぶりの小幅上昇。1991年6月(1.22倍)以来の高水準が続いている。2月の全国は1.28倍で前月比横ばい。こちらも1991年12月(1.31)以来、24年ぶりの高水準が続いており、雇用情勢は引き続き改善傾向で推移している。

府県別では、和歌山県で前月比+0.06ポイント、滋賀県・大阪府で同+0.02ポイント、兵庫県で同+0.01ポイント上昇。奈良県は同横ばい、京都府では同-0.03ポイント低下。

2月の関西の新規求人倍率は、1.87倍と前月比-0.05ポイントと4カ月ぶりに低下した。全国は1.92倍と同-0.15ポイント低下した。

2月の関西の産業別新規求人数をみると、全ての業種で増加していた。特に、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業、卸・小売業等で大きく増加していることから、春節による訪日外国人客の増加や大型商業施設開業への対応が背景にあるとみられる。

### 有効求人倍率の推移 (季節調整値、2016年2月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

### 関西2府4県有効求人倍率(2016年2月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
2月	1.28	1.20	1.12	1.25	1.29	1.06	1.11	1.14
1月	1.28	1.19	1.10	1.28	1.27	1.05	1.11	1.08

### (2) 完全失業率の推移

2月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は3.1%で前月比横ばい。労働力人口と就業者数がともに増加した前月から一転、非労働力人口の増加と就業者数の減少がみられるが、依然として雇用環境は好調である。

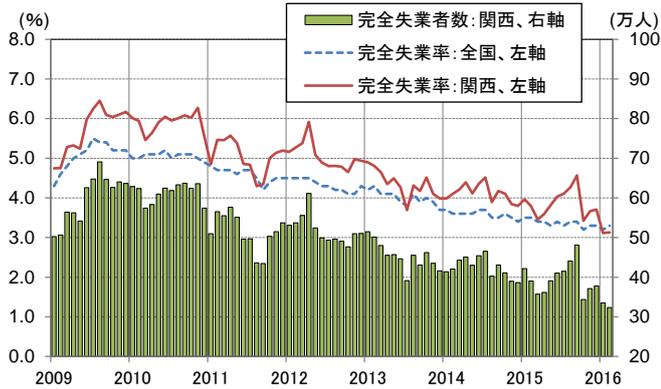
関西の完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は32.3万人で前月から1.2万人減少。2カ月連続のマイナス。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.3%と前月比+0.1%ポイント小幅悪化。

2月の全国の完全失業者数(季節調整値)は216万人と前月比+4万人増加。理由別にみると、自発的な離職が同+3万人、新たに求職が+2万人増加していることから、より良い条件を求めて求職活動が行われているとみられる。

15~64歳の就業率(原数値、全国ベース)は73.5%で前年比+0.8%ポイント上昇。特に女性は同+1.2%ポイント上昇していた。

完全失業率の推移 (季節調整値: 2016年2月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

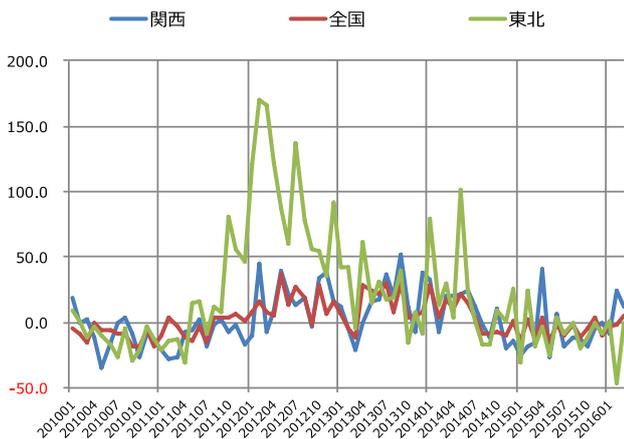
### 【公共投資】

#### (1) 公共工事請負金額

関西 3 月の公共工事請負金額は 1,260 億円で前年同月比 +12.0%と 2 カ月連続の 2 桁増加。全国は 1 兆 3,395 億円で同+5.0%と 4 カ月ぶりの増加。東北は 2,594 億円で同+0.3%と 2 カ月ぶりの小幅プラス。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は 2 カ月連続で前月から増加、全国は 3 カ月ぶりの減少となった(関西: 同+3.3%、全国: 同-3.6%)。

公共工事請負金額(前年同月比: %, 2016年3月まで)

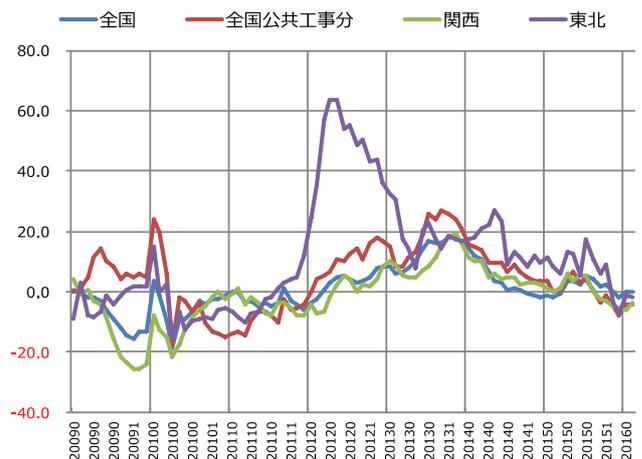


(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

#### (2) 建設工事

関西 2 月の建設工事は 5,626 億円、前年同月比-3.7%と 6 カ月連続で減少した。東北は 5,790 億円、同-2.0%と 4 カ月連続の減少。結果、全国は 4 兆 5,207 億円となり、同+0.2%と 2 カ月連続の増加。うち、全国の公共工事は 2 兆 328 億円で同-4.4%と 6 カ月連続のマイナスとなった。全国、関西、東北の建設工事はいずれも停滞が続いている。

建設工事(前年同月比: %, 2016年2月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

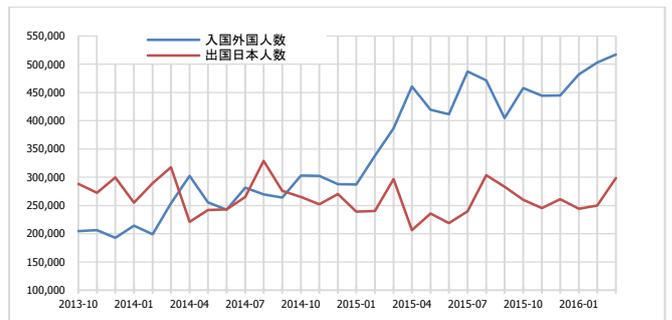
### 【関空モニター】

#### (1) 訪日外客数トレンド

3 月の関空への訪日外客数は 51 万 7,180 人、前年同月比 +33.8%と 38 カ月連続のプラスとなった。外国人旅客総合数(出国・入国含め)は 97 万 7,020 人(同+33.6%)となり、前月から幾分減速した。

一方、出国日本人数は 29 万 8,130 人、同+0.5%と 3 カ月連続で増加したが、小幅にとどまった。

訪日外客数と出国日本人数(人, 2016年3月まで)

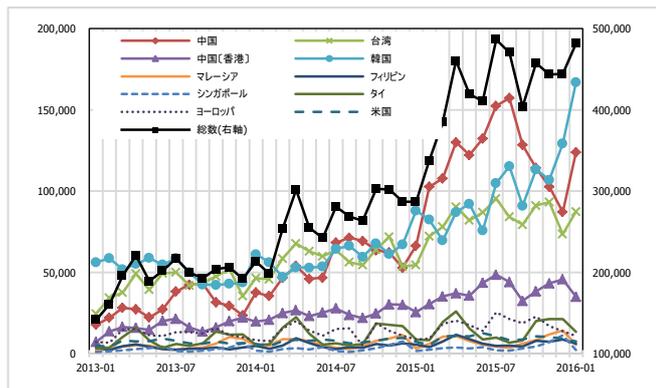


(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

## (2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、1月には韓国からの入国者数が16万6,923人(前年同月比+89.5%)と最も多かった。また歴史的にも最高の水準となった。次いで、中国(香港を除く)が12万3,963人(同+86.5%)と多かった。台湾からは8万7,423人(同+60.3%)、中国(香港)からは3万5,037人(同+37.1%)となった。他のアジア各国からの入国者数は、タイが1万3,503人(同+54.5%)、フィリピンが6,129人(同+9.9%)、マレーシアが5,363人(同+65.0%)、シンガポールが2,187人(同+33.2%)、となった。他地域を見ると、ヨーロッパが1万924人(同+23.7%)と16カ月連続のプラス。米国からは7,576人(同+3.4%)になった。

地域別訪日外客数(2016年1月:人、右軸:総数、左軸:各国)



(出所) 法務省「出入国管理統計」

## (3) 訪日外客支出

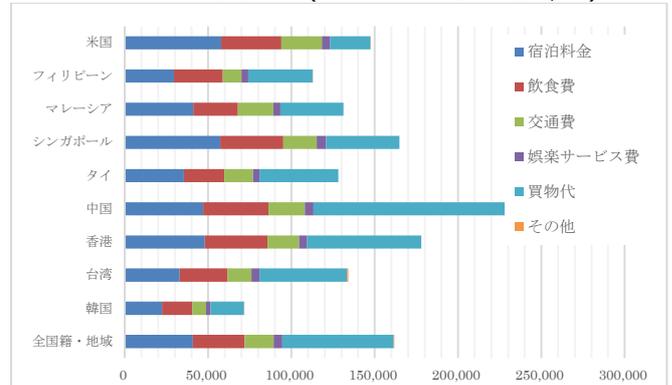
訪日外国人の支出額を見れば、2016年1-3月期に日本を訪れた外国人による平均消費額は16万1,746円(前年比-5.4%)であった。うち、訪日外客数数が最大である中国の平均支出額は26万4,997円(同-11.8%)。なお、買い物代は15万1,293円と半分以上を占めている。

他の関空への入国者数が多い国々を、支出額が大きい順に見ると、香港17万8,010円(同+3.4%)、シンガポール16万4,819円(同+15.8%)、米国14万7,423円(同-13.0%)、台湾13万4,108円(同-2.5%)、マレーシア13万1,262円(同-2.9%)、タイ12万8,036円(同-28.6%)、

フィリピン11万2,949円(同+11.6%)、韓国7万1,798円(同-6.2%)であった。

中国および韓国の支出の下落幅が大きい点に注意が必要である。

国別訪日外客支出総額(2016年1-3月期:全国、円)

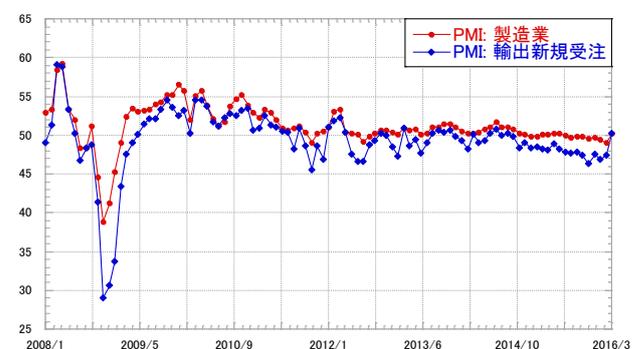


## 【中国景気モニター】

### (1) センチメント

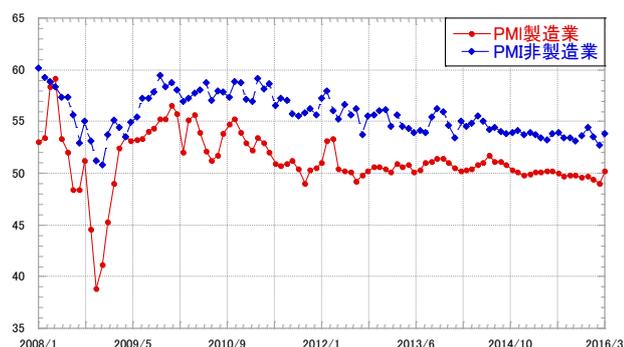
3月の購買担当者景況指数(PMI)を見ると、製造業では50.2となり、前月から+1.2ポイント上昇した。非製造業では53.8となり前月から同+1.1ポイント上昇した。いずれも50ポイントを上回っている。注目すべき点は非製造における1ポイント超の増加は、2013年9月以来、30カ月ぶりである。

中国購買担当者景況指数(2016年3月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEICデータベース

中国製造業購買担当者景況指数(2016年3月まで：%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

製造業のうち、生産指数は 52.3 となり、前月から+2.1 ポイント大幅に上昇。新規受注指数も同+2.8 ポイント上昇し 51.4 となった。また、輸出新規受注指数は 50.2 となり、同+2.8 ポイント上昇した。加えて、雇用指数は 48.1 となり、同+0.5 ポイント上昇した。

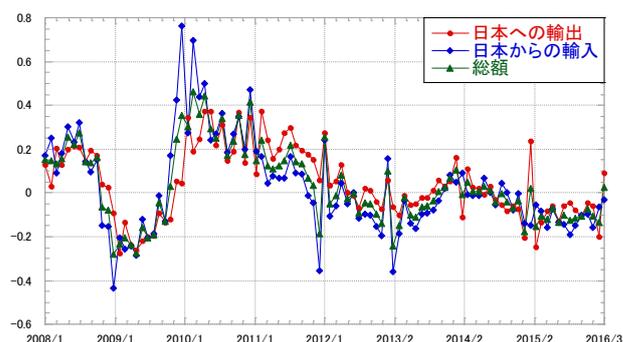
## (2) 貿易動向

3月の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比+11.2%となった。9カ月ぶりのプラス。一方、輸入額(速報値、ドル・ベース)は依然として同-7.4%と17カ月連続のマイナス。結果、貿易収支は+299億ドルとなり、25カ月連続の黒字。しかし、黒字幅は年頭から黒字が減少している状況を見せている。

うち、日本への輸出額は同+9.3%となり、13カ月ぶりのプラスとなった。日本からの輸入額は同-3.1%となり、17カ月連続のマイナスとなった。

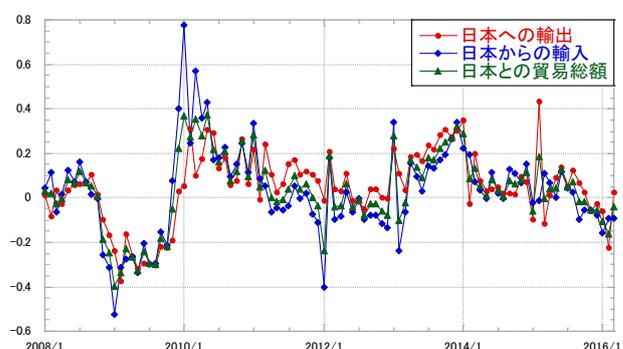
円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+2.6%となり、5カ月ぶりのプラス。日本からの輸入額は同-9.0%、7カ月連続のマイナスとなった。

日本との貿易 (前年同月比：ドル・ベース) (2016年3月まで：%)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易 (前年同月比：円ベース) (2016年3月まで：%)



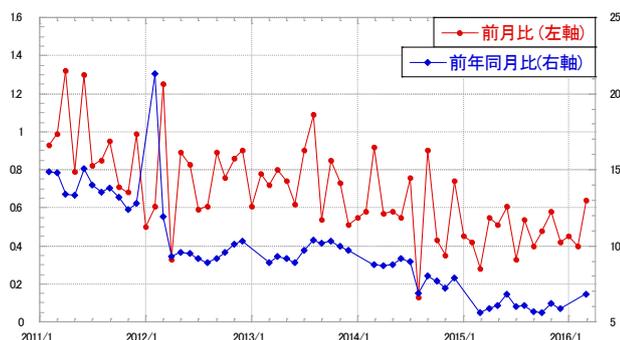
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

## (3) 工業生産

3月の工業生産は前月比+0.64%となり、前月から+0.24%ポイント上昇。

前年同月比では+6.8%となった。産業別に見ると、自動車製造業(同+11.4%)、医薬製造業(同+11.2%)、非金属鉱物製品製造業(同+9.8%)、電気機械・機材製造業(同+9.4%)等が高い伸びを示す一方で、鉄鋼などの精錬・圧延加工業(同+3.3%)、鉄道・輸送機器製造業(3.3%)等は比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2016年3月まで：%)



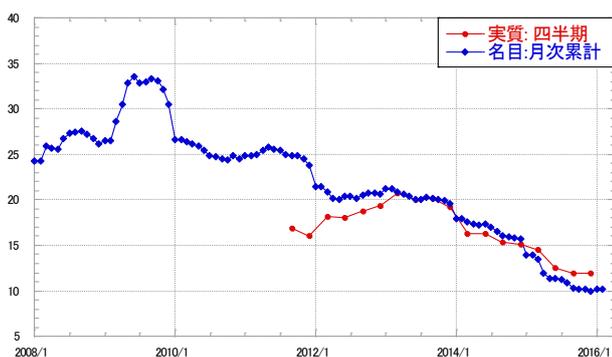
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (4) 固定資産投資

1-3 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+10.7%となった。しかし、この動向は1-2 月期(+10.2%)と比較すれば、+0.5%ポイント上昇し、依然として低水準が続いている。

産業別にみれば、1-3 月期は、第1 次産業は同+25.5%、前月より-8.8%ポイント下落。第2 次産業は同+7.3%と前月から-0.6%ポイント低下。第3 次産業は同+12.6%と前月から+1.5%ポイント上昇。

固定資産投資 (2016年3月まで：%) (累積伸び率)



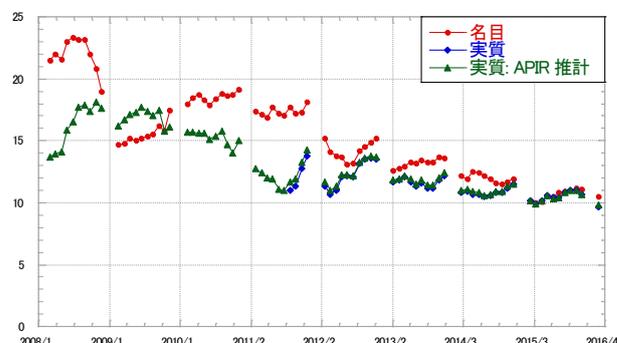
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (5) 消費

3 月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+10.5%、2015 年12 月(同+11.1%)から低下した。消費

(は中国经济成長のエンジンと期待されているが、2016 年に入っても、減速が続いている。

社会消費品小売総額 (2016年3月まで：%)



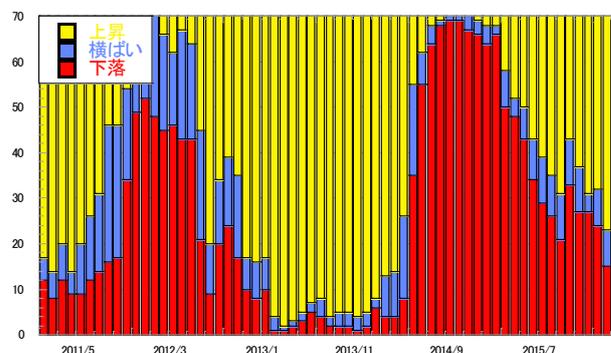
(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

#### (6) 不動産市場

全体的に見れば、2016 年に入り、中国の不動産価格(新築住宅価格)は好調が続いている。具体的には、70 主要都市のうち、3 月には62 都市が上昇となり8 都市だけが下落した。

新築住宅価格の主要都市集計(2016年3月まで：都市数)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

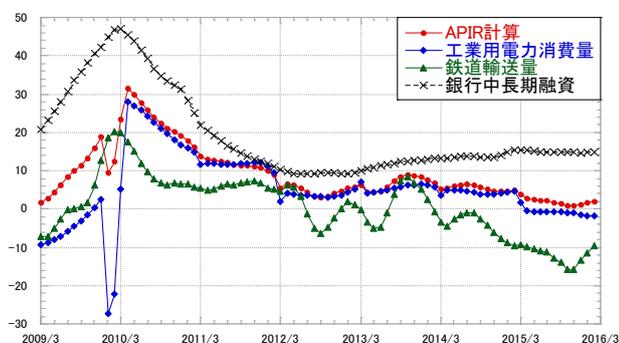
#### (7) リコノミクス指数

2 月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+2.1%となった。内訳をみると、銀行中長期融資は同+14.9%、前月から+0.1%ポイント小幅の上昇にとどまった。工業用電力消費量は同-1.9%、前月から-0.2%ポイント低下。また、

鉄道輸送量は同-9.6%、前月から1.7%上昇した。リコノミクス指数から見た2月の中国経済は顕著な回復が見られない。

Tel. 06-6485-7695,  
E-mail. contact@apir.or.jp

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2016年2月まで:%)



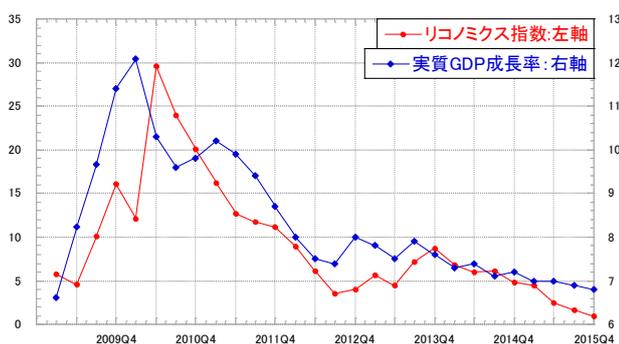
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (8) GDP

1-3 月期の実質 GDP 成長率は前年同期比+6.7%となり、3期連続で7%を下回った。2009年1-3月期(+6.2%)以来の低い値となった。

業種別にみると、第1次産業の成長率は同+2.9%、第2次産業は同+5.8%、第3次産業は同+7.6%となった。第3次産業は比較的堅調な伸び率である。

APIR 試算のリコノミクス指数と実質 GDP 成長率の推移  
(2016年1-3月期まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh  
Nguyet

【主要月次統計】

月次統計	15/3M	15/4M	15/5M	15/6M	15/7M	15/8M	15/9M	15/10M	15/11M	15/12M	16/1M	16/2M	16/3M
景況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	54.6	54.9	53.1	53.3	52.4	51.4	50.5	49.9	46.8	49.2	47.1	45.9	44.0
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	54.1	55.0	53.4	53.6	51.2	50.4	50.8	49.5	44.2	45.7	46.8	44.4	42.4
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	55.5	56.1	53.7	54.2	52.6	47.3	49.9	51.4	48.7	48.5	47.9	48.0	46.5
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	52.2	53.6	53.3	51.0	51.6	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7	46.6	44.6	45.4
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	50.9	53.2	53.6	50.4	50.8	48.8	47.0	48.1	44.4	47.7	45.6	43.2	44.3
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	53.4	54.2	54.5	53.5	51.9	48.2	49.1	49.1	48.2	48.2	49.5	48.2	46.7
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.0	40.8	40.7	41.2	40.8	41.7	40.2	40.3	41.3	41.4	41.6	39.4	41.0
[関西]暮らし向き(原数値)	38.5	38.2	37.7	38.9	38.7	40.4	38.6	38.4	40.0	39.5	40.4	38.1	39.1
[関西]収入の増え方(原数値)	38.7	38.0	39.2	39.4	39.6	39.7	38.9	38.8	40.4	40.4	40.4	39.3	40.2
[関西]雇用環境(原数値)	47.1	47.5	46.3	46.8	45.3	45.6	43.7	44.2	44.5	44.1	44.6	40.6	43.1
[関西]耐久消費財の買い時判断(原数値)	39.6	39.6	39.4	39.8	39.5	41.1	39.7	39.8	40.3	41.6	41.1	39.5	41.6
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	41.7	41.5	41.4	41.7	40.3	41.7	40.6	41.5	42.6	42.7	42.5	40.1	41.7
[関西]大型小売店販売額(10億円)	327.0	310.9	324.8	315.4	337.8	315.4	297.9	316.4	326.9	412.5	332.9	UN	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-13.4	10.6	6.9	0.4	3.0	3.7	3.5	5.0	-0.3	0.6	1.6	UN	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,715.0	1,608.0	1,692.8	1,641.2	1,705.7	1,605.6	1,511.4	1,607.2	1,650.1	2,092.5	1,691.3	UN	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-12.3	9.5	6.3	0.6	3.2	2.6	2.6	4.0	-0.8	0.9	2.1	UN	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	10,832	9,823	10,416	14,330	10,210	12,490	11,697	12,872	11,877	11,024	10,581	11,081	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	-3.0	-20.9	3.2	19.2	1.7	-2.1	-0.1	19.0	-2.6	-5.2	10.2	23.1	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	69,887	75,617	71,720	88,118	78,263	80,255	77,872	77,153	79,697	75,452	67,815	72,831	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	0.7	0.4	5.8	16.3	7.4	8.8	2.6	-2.5	1.7	62.6	73.4	76.8	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	70.8	73.5	72.1	71.8	71.2	79.4	68.9	67.7	68.7	62.6	73.4	76.8	76.6
[関西]マンション契約率(原数値)	72.7	74.2	75.2	74.8	75.1	79.4	67.9	68.6	70.2	59.6	67.1	72.0	78.6
[全国]マンション契約率(季節調整値)	75.7	75.0	71.3	76.1	79.6	76.8	67.1	71.5	80.6	67.3	60.9	72.9	64.3
[全国]マンション契約率(原数値)	79.6	75.5	71.1	78.7	83.7	74.3	66.0	68.8	82.1	64.8	58.6	72.9	67.6
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	112.4	263.4	127.6	200.4	134.6	103.2	128.6	123.0	85.4	97.3	64.4	80.0	125.9
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	-14.9	40.9	-26.5	6.4	-18.2	-11.6	-13.4	-18.2	-3.9	0.1	-8.8	24.3	12.0
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,275.5	1,836.1	1,129.4	1,556.4	1,463.2	1,113.2	1,246.1	1,253.0	872.0	808.6	653.5	696.8	1,339.5
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	-12.4	4.4	-14.0	-1.8	-10.1	-1.3	-10.9	-4.8	3.3	-9.6	-2.6	-2.2	5.0
[関西]建設工事(総合、10億円)	573.7	467.9	467.5	487.0	500.3	507.4	521.0	540.7	561.0	578.1	564.6	562.6	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	1.0	5.8	3.8	5.4	5.2	0.2	-2.4	-2.8	-4.6	-5.2	-6.0	-3.7	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,520.2	3,632.1	3,549.4	3,727.0	3,934.5	4,195.9	4,402.8	4,642.3	4,712.0	4,732.5	4,611.1	4,520.7	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	-0.7	3.4	3.3	2.5	5.2	4.1	1.6	2.6	-0.1	-2.1	0.0	0.2	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	2,140.9	1,445.8	1,383.9	1,454.4	1,550.8	1,717.3	1,865.7	2,067.3	2,132.5	2,160.4	2,093.9	2,032.8	UN
[関西]建設工事(公共工事、前年同月比)	0.8	4.9	6.4	3.1	4.4	0.8	-3.5	-1.5	-5.1	-7.8	-4.3	-4.4	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	106.5	102.1	100.9	102.6	102.8	100.4	101.6	104.1	102.5	99.2	104.1	98.7	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.6	-4.1	-1.2	1.7	0.2	-2.3	1.2	1.3	-1.5	-3.0	4.9	-5.2	UN
[関西]出荷指数(原数値、前年同月比)	0.3	-0.6	-4.8	0.0	-0.4	0.1	1.0	-4.5	0.0	-3.6	-8.6	-2.2	UN
[関西]在庫指数(原数値、前年同月比)	2.8	1.9	0.3	0.9	0.5	-0.3	0.2	0.9	0.0	1.4	0.7	1.3	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、10年=100)	102.9	100.7	98.8	100.0	100.5	98.7	100.6	102.1	99.4	97.7	101.2	96.5	UN
[関西]出荷指数(季節調整値、前月比)	-0.7	-2.1	-1.9	1.2	0.5	-1.8	1.9	0.5	-2.6	-1.5	3.6	-4.6	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、10年=100)	116.5	116.7	116.9	117.6	119.0	118.0	118.4	118.1	118.6	118.1	117.4	118.9	UN
[関西]在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.8	0.2	0.2	0.6	1.2	-0.8	0.3	-0.4	0.4	-0.2	-0.6	1.3	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	98.1	99.3	97.2	98.3	97.5	96.3	97.4	98.8	97.9	95.9	98.3	93.2	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-0.8	1.2	-2.1	1.1	-0.8	-1.2	1.1	1.4	-0.9	-1.2	2.5	-5.2	UN
[全国]出荷指数(原数値、前年同月比)	-2.3	0.2	-3.2	1.8	-0.4	0.6	-1.5	-0.8	0.0	-2.5	-5.8	-1.8	UN
[全国]在庫指数(原数値、前年同月比)	6.2	6.6	3.9	4.0	-0.8	2.1	2.1	0.2	0.0	0.0	0.3	-0.9	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、10年=100)	97.3	97.9	96.0	96.6	96.2	95.5	96.8	98.8	96.4	94.9	96.8	92.8	UN
[全国]出荷指数(季節調整値、前月比)	-0.6	0.6	-1.9	0.6	-0.4	-0.7	1.4	2.1	-2.4	-1.4	2.0	-4.1	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、10年=100)	113.4	113.8	112.9	114.6	113.7	114.0	113.6	111.4	111.9	112.7	112.5	112.1	UN
[全国]在庫指数(季節調整値、前月比)	0.4	0.4	-0.8	1.5	-0.8	0.3	-0.4	-1.9	0.4	0.4	-0.2	-0.4	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	0.0	-0.5	0.3	-1.5	0.7	0.7	1.1	-0.6	-0.8	0.7	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	0.2	-0.9	-0.1	-1.1	0.9	0.6	1.2	-0.6	-1.1	1.2	-0.3	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	0.0	0.7	0.7	-2.5	0.9	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.9	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.5	3.6	3.8	4.0	4.1	4.3	4.6	3.4	3.7	3.7	3.1	3.1	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.6	3.5	3.7	3.9	4.3	4.4	4.5	3.6	3.4	3.3	3.3	3.3	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.4	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.68	1.70	1.71	1.71	1.72	1.74	1.79	1.76	1.83	1.87	1.92	1.87	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.74	1.77	1.78	1.79	1.82	1.84	1.83	1.86	1.90	1.90	2.07	1.92	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.06	1.08	1.10	1.10	1.11	1.13	1.14	1.15	1.17	1.19	1.19	1.20	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.16	1.17	1.18	1.19	1.21	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	201.1	114.9	107.8	134.0	7.8	65.0	127.5	100.8	-29.3	167.5	-58.4	139.1	222.4
[関西]輸出(10億円)	1,459.2	1,382.7	1,264.3	1,383.4	1,374.6	1,299.4	1,386.8	1,398.2	1,237.0	1,338.7	1,110.0	1,199.9	1,337.0
[関西]輸出(前年同月比)	7.9	5.3	2.7	7.3	4.9	2.0	2.8	-1.9	-6.5	-10.8	-14.9	-3.4	-8.4
[関西]輸入(10億円)	1,258.1	1,267.8	1,156.6	1,249.4	1,366.8	1,234.4	1,259.4	1,297.3	1,266.3	1,171.1	1,168.4	1,060.8	1,114.6
[関西]輸入(前年同月比)	-14.1	-4.2	-8.1	-4.8	-0.5	0.4	-11.0	-8.8	-5.8	-19.3	-15.4	-17.1	-11.4

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

## Release Calendar for Mar/Apr

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
28-Mar	29-Mar	30-Mar 中国製造業 PMI (4月)	31-Mar	1-Apr 中国消費品小売(物価指数) (2月)
4-Apr	5-Apr 毎月勤労統計 (2月:速報値)	6-Apr	7-Apr	8-Apr 消費動向調査(3月) 景気ウォッチャー調査 (3月) 近畿鉱工業生産指数 (1月速報)
11-Apr 近畿貿易統計 (1月確報) 近畿貿易統計 (2月確速)	12-Apr	13-Apr 商業動態調査 (2月:確報値) 中国輸出入 (4月:速報値)	14-Apr マンション契約率 (3月)	15-Apr 全国鉱工業生産指数 (2月:確報値) 公共工事前払保証額 統計(3月) 中国工業生産(3月) 中国消費小売総額 (3月) 1-3月期中国 GDP 中国固定資産投資 (3月)
18-Apr 建設総合統計(2月) 中国不動産市場 (3月)	19-Apr	20-Apr 全国貿易統計 (3月:速報) 近畿貿易統計 (3月速報)	21-Apr	22-Apr 毎月勤労統計 (2月:確報値)
25-Apr 近畿鉱工業生産指数 (2月確報)	26-Apr 1-3月期中国 求人倍率	27-Apr 全国貿易統計 (3月:確速)	28-Apr 商業動態調査 (3月:速報値) 新設住宅着工(3月) 全国鉱工業生産指数 (3月:速報値) 求人倍率(3月) 完全失業率(3月)	29-Apr